

東芝キャリア(株)富士事業所 サイトレポート情報	
所在地	: 静岡県富士市蓼原336番地
敷地面積	: 228,229㎡、建家面積:115,217㎡、緑化率 6.81%
設立	: 1999年4月、従業員:1,101人 (2011年6月現在)
主要製品	: 空調機器、ヒートポンプ給湯機、冷蔵・冷凍機器、換気機器、コンプレッサー
ISO14001 認証取得	: 1997年4月、最新更新年月: 2009年4月 (ISO認証番号: EC97J1014)



ごあいさつ

東芝キャリア(株)富士事業所は、富士山の麓に位置し、美しい自然の中で空調関連製品を中心に事業を展開しています。ビル・オフィス向け空調機器、ヒートポンプ給湯機、冷蔵・冷凍機器、換気機器、コンプレッサーなどを製造しています。世界各地のお客様に、快適な住空間づくりを提案しつつ、「省エネルギー」「地球との共生」「健康」という3つのキーワードで、全従業員一丸となって環境保全活動に取り組んでいます。



環境保全責任者 大捕 雅彦

2010年度の環境の主な取組み

- ☆ ISO14001 環境マネジメントシステム
1997年4月に認証取得、2009年4月に4回目の更新終了。
- ☆ エネルギー起源CO2排出量の削減
CO2 (エネルギー) の生産高原単位を、1990年度と比べて、41%削減 (目標35%削減)。
- ☆ 廃棄物総発生量の削減とゼロエミッション1%以下の継続
廃棄物総発生量の生産高原単位を、2004年度と比べて、32%削減 (目標24%削減)。
ゼロエミッション (最終処分率) は、0.32%。
- ☆ 化学物質排出量の削減
化学物質の排出量を、2000年度と比べて、70%削減 (目標67%削減)。
- ☆ 環境調和型製品の開発
ビル用マルチエアコンS-MMS-i、業務用全熱交換ユニット、業務用HP給湯機(BIG II)、ほか
- ☆ 資材取引先に関する環境配慮取引先に指導・支援 (全18社)、廃棄物委託先現地確認 (16社)
- ☆ 全員参加・啓発活動の展開
環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、ニュース、教育等。
- ☆ 植樹
富士山麓ブナ林創造事業への参加。
しずおか未来の森サポーターとして「富士山こどもの国」下草刈り実施。
社会・環境報告書2010

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

- ・ 東芝グループのエクセレントECP認定制度
2010年度は業界トップクラスの環境性能を有する製品として2製品が認定を受けました。

SMMS-i (5機種)
MMY-MAP2244H ほか
ファクター=4.01



インバータ内蔵LEDオープンショーケース
ファクター=4.17



環境コミュニケーションの紹介

- ・ 環境報告書: 2003年度から毎年発行
- ・ 地域コミュニケーション: (主催) 地域清掃活動の実施、地域住民環境施設見学会、電力会社等見学会受入
- ・ 各展博等への参加: 東芝環境展、エコプロダクツ展

東芝キャリア（株）富士事業所 環境保全基本方針

東芝キャリア株式会社 富士事業所は、空調・冷熱・換気機器及びコンプレッサーの開発・製造拠点として、環境調和型製品の社会への提供及び環境負荷の低減に配慮した生産活動等を通じて社会に貢献することをめざします。

そして、「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、環境活動を推進します。

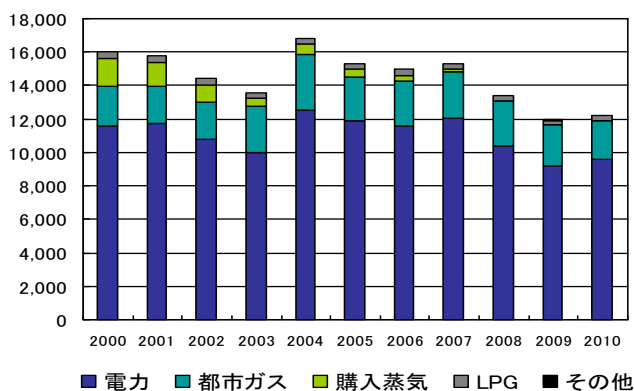
- ① 環境への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境影響評価の結果を配慮し、環境目的および環境目標を設定し、環境経営の継続的な改善・向上に全従業員で取り組みます。
- ② 環境に関する法令、及び当社が同意したその他の要求事項を遵守するとともに、自主基準を設けて環境活動を推進します。
- ③ 耐久消費財・エネルギー多消費の製品面から、地球資源の有限性を認識すると共に、その環境側面を考慮して、省エネルギー、省資源、リサイクル、環境負荷物質削減、生物多様性などに配慮した製品づくりを推進します。
- ④ 事業活動・サービスに関わる環境側面について、エネルギー、化学物質、廃棄物等の環境負荷の低減や環境汚染の予防、生物多様性の保全をめざした環境活動を推進します。
- ⑤ グループ一体となった環境保全活動を推進します。また、地域社会や取引先企業との協調連帯を図ります。
- ⑥ 富士山麓の良好な自然環境や森林の持つ治山治水機能の保全のため、森林の健全な育成に貢献します。

2011-6-17 環境保全責任者

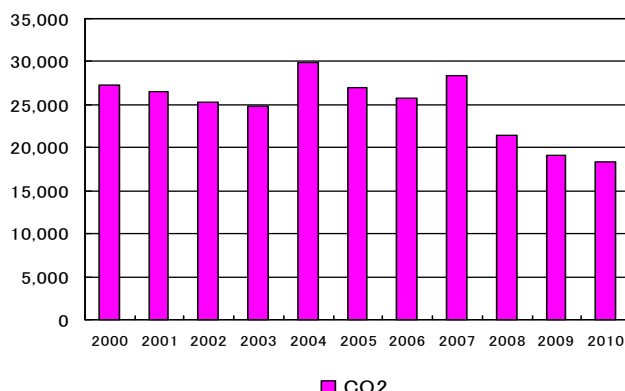


環境負荷データ

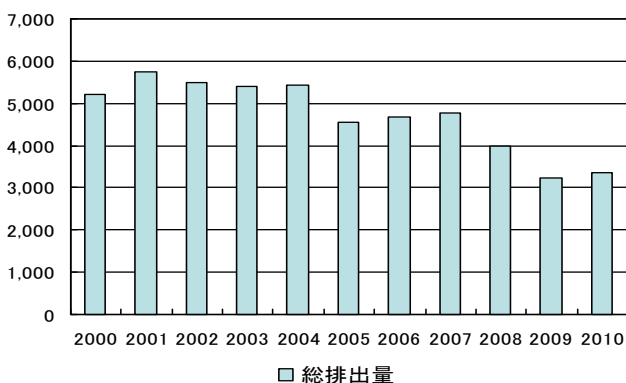
エネルギー使用量(単位:KL)



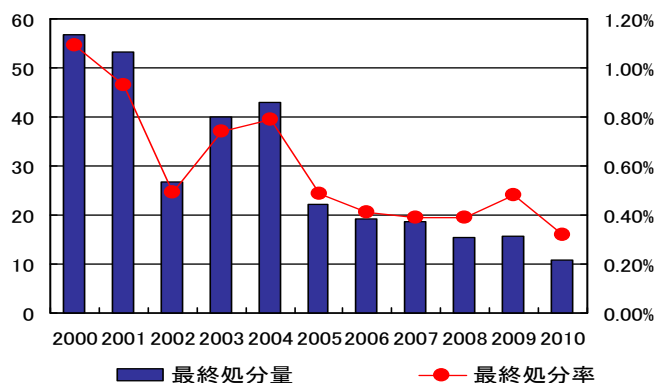
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

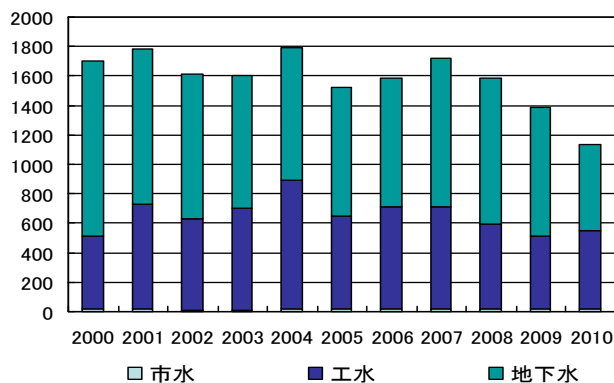


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

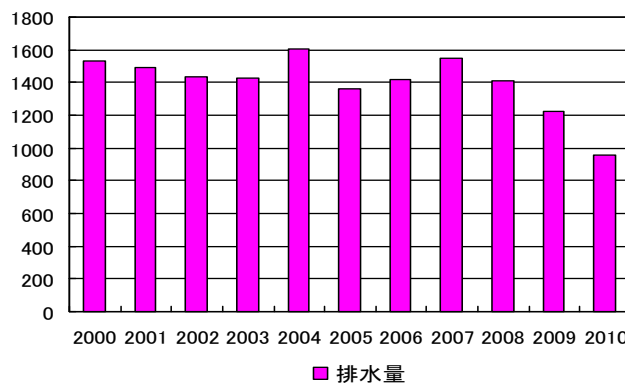


主な廃物名: 金属、ダンボール、紙屑、廃油、廃プラスチック

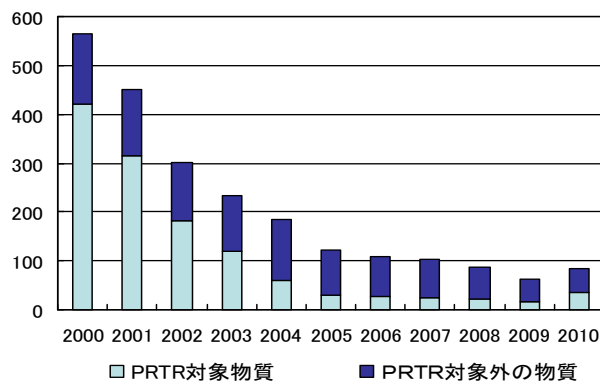
水の使用量(単位:千m³)



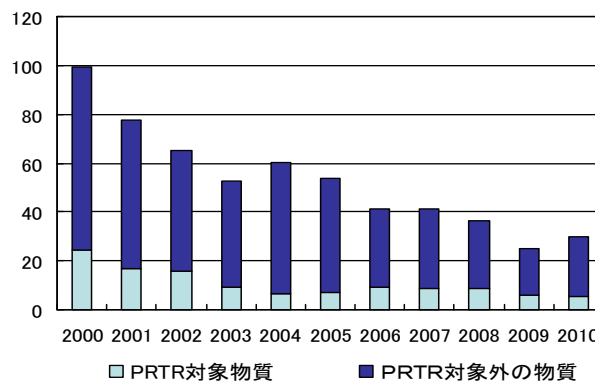
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質: エチレングリコールモノブチルエーテル、キシレン、C8のパラフィン、イソプロピルアルコール、トルエン

遵法管理状況

<大気測定結果> (水管式ボイラ 1台、小型貫流ボイラ 6台) 測定日:2011-3-2 水管式ボイラの測定結果

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	100	61	2回/年
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	0.1	0.05	0.015	2回/年

<排水測定結果> (主な測定結果)酸又はアルカリ表面処理施設:22施設、河川(田子江川)へ放流
測定日:2010-6-7

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度 *2
水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.4~8.4	7.4	2回/年(2回/日)
BOD(mg/ℓ)	20/30 *1	15	2.1	1回/週
COD(mg/ℓ)	20/30 *1	15	1.1	2回/年(2回/日)
SS(mg/ℓ)	20/30 *1	15	5未満	2回/年(2回/日)
亜鉛(mg/ℓ)	2	1	0.02	1回/年(1回/日)
溶解性マンガン(mg/ℓ)	10	1	0.03	1回/月
フッ素(mg/ℓ)	8	1.5	0.1	4回/年

*1: 日間平均/日間最大(静岡県条例)

*2: 外部計量機関による頻度()内は社内測定頻度

<騒音・振動測定結果> 特定施設(騒音 944施設・機械プレス、他)(振動 466施設 機械プレス、他)
測定日:2011-1-17...5測定点のうち、住居隣接区西境界1点(#201西A)の測定結果

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼間	65	60	50	2回/年
	敷地境界:朝・夕	60	60	50	2回/年
	敷地境界:夜間	55	55	53	2回/年
振動(dB)	敷地境界:昼間	70	50	30未満	2回/年
	敷地境界:夜間	65	50	30未満	2回/年

<その他測定結果> (下水道法:法令上の特定施設なし。) 測定日:2011-1-7

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
BOD(mg/ℓ)	600	300	91	1回/年
ノルマルヘキサン抽出物(mg/ℓ)	30	27	16.5	1回/年

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし